イラストは RR-US750 です。

保証書付き

Panasonic®

取扱説明書
IC レコーダー

品番 **RR-US950**
RR-US750

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P42 ～ 45)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年　月　日	品 番	
販 売 店 名	☎ (　　)　－		

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9121-MS
H1207TY3088

本機の楽しみかた

録音する

会議で	授業や講演会で	音声メモに

再生して聞く

- 録音ファイル
- MP3 音楽ファイル

インサイドホンで	スピーカーで

パソコンと接続する

パソコンで
- 充電する
- 録音ファイルを取り込む / 整理（削除）する / 再生して聞く

パソコンから
- MP3 音楽ファイルを転送する

付属品の確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

□ステレオインサイドホン【L0BAB0000172】
□USB ケーブル【K2KZ4CB00012】
□単４形ニッケル水素充電式電池※：1 本
（ケース：RXQ0449）

- かっこ【 】内は、買い替え時の品番です。品番は 2008 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

※充電式電池の買い替えは必ず専用の別売品をお買い求めください。【HHR-4AG/2B】（2 本組）の 1 本をご使用ください。

専用充電式電池	
一般の充電式電池	

一般の充電式電池は本機では充電できません。

付属品（上記）と別売品（上記、P26）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense http://www.sense.panasonic.co.jp

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/ic

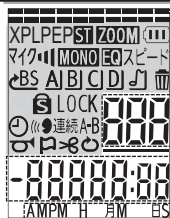
もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P42 ～ 45）

各部のなまえ

本体

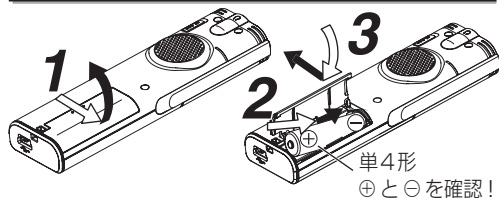
①録音ランプ (赤色)
②LCD 表示部
③+ (音量) ボタン
④ズーム用マイク (前)
⑤⏮ (早戻し) ボタン
⑥▶/■ (再生 / 停止 / 決定) ボタン
⑦– (音量) ボタン
⑧⏭ (早送り) ボタン
⑨録音 / 一時停止ボタン
⑩■ (停止) ボタン
⑪•フォルダー / –メニュー / インデックス / 分割ボタン
⑫リピートボタン
⑬消去ボタン
⑭録音ポジションスイッチ（ズーム / ワイド / マニュアル）
⑮USB 端子
⑯内蔵マイク
⑰インサイドホン端子（Ω）
⑱ホールドスイッチ
⑲ズーム用マイク（後）
⑳内蔵スピーカー
㉑電池ふた
㉒ストラップ取り付け穴

表示部

メモリー残量（P11、17）／録音レベル（P9）
XPLPEP：録音モード（P9）
ST MONO：ステレオ／モノラル（P14）
A B C D ♪：フォルダー（P9、10）
ファイル番号（P10）
連続A-B ↻：連続／リピート再生（P20）
録音·再生経過時間／録音可能時間·残再生時間／現在時刻など（P11）
録音·再生時間／録音日時（P11）

ZOOM：ズーム録音（P15）
マイク◀|：マイク感度（P14）
スピード：再生スピードコントロール（P18）
S：セキュリティ（P24）
◷：タイマー予約録音（P16）
操作音（P26）
✂：分割（P21）
電池残量（P5）
EQ：ノイズカット（P19）
BS：少し戻る再生（P19）
LOCK：誤消去防止（P13）
VOS録音（P17）
インデックス（P22）
🗑：消去（P12）

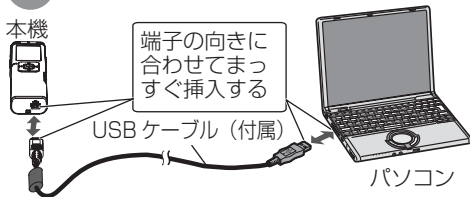
電池を入れる / 充電する

ご購入後は、まず充電してください。充電時間：約 2 時間（電池残量が空の状態からフル充電までにかかる時間）

充電式電池（付属）を入れる

パソコンで充電する

- 停止 を押して、停止状態にしておく。
- パソコンを起動させておく。

❶ USB ケーブルを本機に差し込む

❷ USB ケーブルをパソコンに差し込む

充電時の表示（充電回数の目安は約 300 回）

充電中	→ → → 表示が変化します
充電完了	

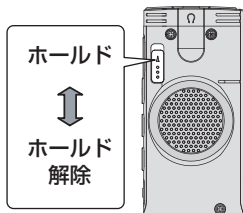
パソコンが本機を認識すると上記表示とともに本機の表示部に "PC" が表示されます。

- 充電中は、充電式電池や本機が多少熱くなりますが異常ではありません。
- **専用の単 4 形ニッケル水素充電式電池（P2）以外は本機で充電できません。**

録音中や再生中に下記の電池残量表示が表示されます。

→ → → 点滅

- 電池残量がなくなると " " や "U01" が表示されます。お早めに充電してください。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- パソコンと接続した時に、"USb--nG" が表示される場合がありますが充電はできます。詳細は P37 をご覧ください。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。
- 乾電池（別売）も使えます。時計設定を保持するため、電池交換は約 30 秒以内に行ってください。

ホールド機能

■ ホールドとは

ポケットやかばんに入れたときに起こる誤操作や、誤操作による電池の消耗を防ぐための機能です。

■ ホールドにすると…

誤ってボタンが押されても、操作を受け付けません。

●録音中や再生中にホールドにすると、"hold" が表示された後、元の表示に戻ります。

●停止中にホールドにすると、"hold" が表示された後、すべての表示が消え、電源が切れます。

電源を入れる / 切る

本機には電源ボタンはありません。

電源を入れるには

• 電源が切れている状態（表示が消えている）で、▶/■ など、何かのボタンを押したり、ホールドスイッチを操作すると電源が入り、表示が点灯します。

電源を切るには

• 停止状態でホールドにする。
また、停止状態で約 15 分間以上何も操作しないと自動的に電源が切れます。

●ご使用後は、停止状態にした後、ホールドにして、電源を切っておいてください。

時計を合わせる

お買い上げ時など、時計設定されていない状態で電源を入れると表示部に“2008”(点滅)が表示されます。
(ホールドを解除した状態だと、約 1 分後に“12:00”(点滅)に変わります。)
録音日時の記録やタイマー予約録音に使用しますので、時計を設定しておいてください。
時計を設定していなくても録音は可能ですが、録音日時は“----”と表示されます。

•フォルダー/ーメニュー
停止

“2008”(点滅)表示の場合

• ホールドを解除しておく。(P6)

❶ +、−で年を設定し、▶/■ で決定する
月日も同様に行う。

年　月　日

❷ ⏮、⏭ で時刻表示方式を選び、▶/■ で決定する

24 時間表示　12 時間表示

❸ +、− で時刻を設定し、▶/■ で決定する
+、− を押したままにすると高速で時刻を変更できます。

24 時間表示　12 時間表示

“12:00”(点滅)表示の場合や時刻を変更する場合

• ホールドを解除しておく。(P6)
• 停止 を押して、停止状態にしておく。

1. メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする
“XPLPEP”(点滅)または“2008”(点滅)が表示されます。

2. +、−で“20 **”を選び、▶/■ で決定する
“2008”(点滅)の場合は、そのまま ▶/■ で決定する。

3. 左記の手順 ❶ ❷ ❸ を行う

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
●時計精度は、室温で月差約 60 秒です。
●電池が消耗し切ると、時計設定は解除されます。

準備

録音設定について

本機には、録音の音質に関係する４つの録音設定項目があります。設定を組み合わせることにより状況に適した音質で録音できます。

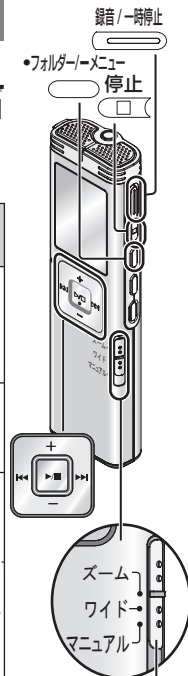
録音設定項目	設定内容と画面表示
録音モード （P9）	高音質 ⇕ 長時間 ：XP ：LP ：EP
ステレオ / モノラル切換 （P14）	ステレオ　：ST モノラル　：MONO
マイク感度 （P14）	高　：マイク 標準　：マイク 低　：マイク
ズームマイク （P15）	ズームマイク入：ZOOM ズームマイク切：表示無し

録音モードとステレオ / モノラルの組み合わせによって総録音可能時間が変わります。（P40）

録音ポジション切換

本機には録音設定を固定した「ズーム」､「ワイド」とお好みに合わせて設定内容を変更できる「マニュアル」の３つの録音ポジションがあり、録音ポジションスイッチで切り換えができます。

録音ポジション	設定内容（画面表示）と用途
ズーム	XP ZOOM マイク MONO 用途：授業や講演会など狙った人の声を録る
ワイド	XP ST マイク 用途：会議など複数の人の声を録る
マニュアル	XP ZOOM ※ マイク MONO 用途：音声メモをとるときなど ※ お買い上げ時は音声メモに適した設定になっています。お好みに合わせて変更できます。（P14、15）

録音モード（XP、LP、EP）は、どのポジションでも変更できます。（P9）

録音する

- ホールドを解除しておく。(P6)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 録音ポジションスイッチを切り換える

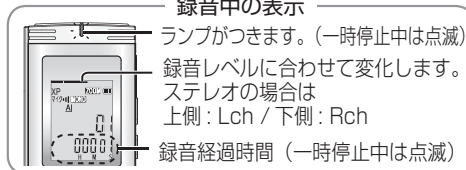
録音ポジションを選んでください(P8)

2 録音先のフォルダーを選ぶ(右記)

•フォルダー/ーメニュー をポンと押すたびに切り換わりますので、
“A B C D”から選んでください。(お買い上げ時は“A”)
“♪”を選んだ場合、自動的に“A”(すでに99ファイル入っている場合は次の空きフォルダー)へ録音されます。

3 録音/一時停止 を押す(録音開始)

押すたびに　一時停止 ⇄ 録音再開

録音中の表示

停止する: 停止 を押す。

●録音中、録音ポジションスイッチの位置を変更しても設定は録音終了まで変更されません。
●必要に応じて録音モード(右記)を変更してください。

フォルダーとは

録音(音楽)ファイルを入れる場所のことで、本機では4つの音声フォルダー“A B C D”と1つの音楽フォルダー“♪”があります。
目的別にフォルダーを使い分けて録音しておくと、後で探すときに便利です。音声フォルダーの場合は、A~D 各フォルダーに最大99ファイルまで録音できます。

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを1つのまとまりにして保存されます。この保存データをファイルと呼びます。

録音モード (XP/LP/EP) の設定方法

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1. **メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする**
   “XPLPEP”(点滅)が表示されます。
2. **▶/■ で決定する**
3. **⏮、⏭ で“XP”、“LP”または“EP”を選び、▶/■ で決定する**

再生する

•フォルダー/ーメニュー
停止

- ホールドを解除しておく。(P6)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。
- フォルダーを選択しておく。(右記)
- ファイルを選択しておく。(右記)

❶ ▶/■ を押す（再生開始）

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：－ を押す
0 から 20 までの間で調整できます。
(お買い上げ時は 13)

再生中の操作

とび越し (スキップ)：
　⏮、⏭ をポンと押す。
　ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は 1 秒以内にもう一度 ⏮ を押す。

早戻し / 早送り（サーチ）：
　⏮、⏭ を押したままにする。

停止：
　▶/■ または 停止 を押す。

フォルダーの選択

•フォルダー/ーメニュー をポンと押すたびに“A”、“B”、“C”、“D”、“♫”と切り換わります。
再生するファイルの入ったフォルダーを選択してください。

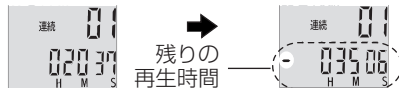
ファイルの選択

⏮、⏭ で選ぶ。
押すたびにファイル番号が変わります。

ファイル番号　連続　01

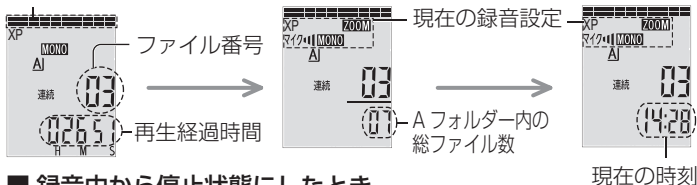
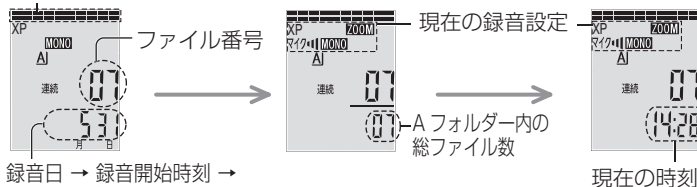
残りの再生時間を確認する

1. 再生中に •フォルダー/ーメニュー を 1 秒以上押したままにする

再生中のファイルの残り時間が表示されます。

元の画面に戻るには •フォルダー/ーメニュー をもう一度押す。
(押さない場合でも、約 30 秒で元の画面に戻ります。)

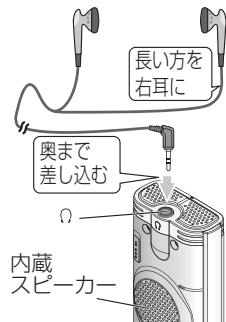
停止時の表示画面について

停止後、現在の時刻表示になるまで、以下のように切り換わります。

■ 再生中から停止状態にしたとき

■ 録音中から停止状態にしたとき
■ 停止中に ⏮、⏭ でファイルを選択したとき

録音日 → 録音開始時刻 →
録音時間が順に表示されます。
ファイルを探すときの目安にしてください。

例）ズームポジション、録音モード（XP）で A フォルダーに録音した場合

再生中の音声を聞く

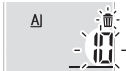
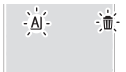
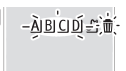
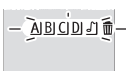
再生中の音声はスピーカーから聞こえます。スピーカー出力の関係で周りが騒がしい場所では、音が聞き取りにくいことがあります。そのような場合は、付属のステレオインサイドホンでお聞きください。

●接続すると、内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

• フォルダーを選択しておく。(P10)

1 再生中、または停止中に 消去 を押す

2 ⏮、⏭ でファイルを選ぶ

① 一つのファイルを消去する場合

② 一つのフォルダー内の全ファイルを消去する場合

③ A ～ D フォルダー内の全ファイルを消去する場合

④ 全フォルダー内の全ファイルを消去する場合

⑤ 本機をフォーマットする場合

①～④：ロックしたファイルと本機で再生できないファイルは消去できません。

3 ▶/■ でファイルを決定する

4 ⏮、⏭ で"YES"を選び、▶/■ で決定する

消去が完了すると"- -"が表示されます。完了までに数十秒かかる場合があります。

フォーマットについて

フォーマットを実行すると、ロックしたファイルやパソコンから転送した音楽ファイルやデータファイルなど、保存した全てのデータが消去されます。

- 消去すると元に戻すことはできません。
- 操作を途中でやめる場合は 停止 を押す。
- 消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。
- ファイルの一部分を消去したい時は、ファイルを分割(P21)後、不要ファイルを消去してください。
- 電池残量表示が"⬭"の時は、消去できません。

録音ファイルをロックする（誤消去防止）

録音したファイルにロックをかけておくと、本機で消去することができません。（フォーマットを除く。）誤消去防止にご使用ください。

- フォルダーを選択しておく。（P10）
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

“XPLPEP”（点滅）が表示されます。

❷ ＋、－と ⏮、⏭ で “LOCK” を選び、▶/■ で決定する

（＋、－で “🔒” へ移動させて ⏭ で “LOCK” を選ぶ。）

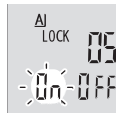
❸ ⏮、⏭ でファイルを選ぶ

① 一つのファイルを選ぶ場合

② 一つのフォルダー内の全ファイルを選ぶ場合

③ 全フォルダー内の全ファイルを選ぶ場合

❹ ▶/■ でファイルを決定する

❺ ⏮、⏭ で “On” を選び、▶/■ で決定する

ロック設定が実行されます。
完了までに数十秒かかる場合があります。

ロックを解除する場合：

手順 ❶ ～ ❹ を行った後、手順 ❺ で “OFF” を選び、決定する。

- 設定を途中でやめる場合は 停止 を押す。
- ロック設定をしたファイルには “LOCK” が表示されます。
- 選択したフォルダー内に録音ファイルが無い場合は、メニュー画面に “LOCK” は表示されません。

基本操作

録音設定を変更する（ステレオ / モノラル、マイク感度）

ステレオ / モノラルを変更する

- 録音ポジションスイッチを「マニュアル」に設定しておく。（P8）
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

"XP LP EP"（点滅）が表示されます。

2 ⏮、⏭ で " ST MONO " を選び、▶/■ で決定する

3 ＋、－で "ST" または "MONO" を選び、▶/■ で決定する

ステレオ
（複数の人の声を録る）

モノラル
（一人の声を録る）

マイク感度を変更する

- 録音ポジションスイッチを「マニュアル」に設定しておく。（P8）
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

"XP LP EP"（点滅）が表示されます。

2 ＋、－ で "マイク" を選び、▶/■ で決定する

3 ⏮、⏭ でマイク感度を選び、▶/■ で決定する

マイク（小）	マイク（中）	マイク（大）
低	標準	高

- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- "ZOOM"（ズーム ON）設定中（P15）に、"ST" を選んだ場合、ズームマイクの設定は解除されます。（"ZOOM" が消えます。）

録音設定を変更する（ズームマイク）/ 録音中の音声をモニターする

ズームマイクの設定を変更する

周囲の音を押さえ、狙った前方の音を強調して録音します。
ズームマイクを使っての録音はモノラル音声になります。

•フォルダー/ーメニュー
停止

- 録音ポジションスイッチを「マニュアル」に設定しておく。（P8）
- “MONO”（モノラル）に設定しておく。（P14）
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

“XP LP EP”（点滅）が表示されます。

2 ⏮、⏭ で“ZOOM”を選び、▶/■ で決定する

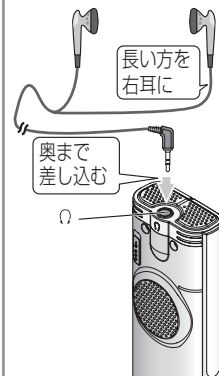
3 ⏮、⏭ で“On”または“OFF”を選び、▶/■ で決定する

ズーム ON
ズーム OFF　On-OFF-

ズーム
ワイド
マニュアル

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
●ズーム用マイクと内蔵マイクの穴を、指などでふさがないでください。（P4）
●“ST”（ステレオ）に設定（P14）しているとズームマイクの設定はできませんので、メニュー画面に“ZOOM”は表示されません。

録音中の音声をモニターする

付属のステレオインサイドホンを接続すると録音中のモニター音声を聞くことができます。

■ 音量を調整する

＋、－ を押すことで音量調整ができますが、録音レベルには影響しません。

応用操作

タイマー予約録音をする

本機ではタイマー予約録音を 1 件設定することができます。開始時刻になると自動的に録音を開始し、終了時刻に終了します。

- 時計を合わせておく。(P7)
- 録音するフォルダーと録音ポジションを選んでおく。(P8、9)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

"XP LP EP"(点滅)が表示されます。

❷ ＋、－ で"⊖"を選び、▶/■ で決定する

❸ ⏮、⏭ で"On"を選び、▶/■ で決定する

❹ ＋、－ で開始時刻を選び、▶/■ で決定する

終了時刻も同様に設定する。(終了時刻を設定しないとタイマー予約録音ができません。)

ON(開始時刻)

OFF(終了時刻)

タイマー予約録音設定後は"⊖"が点灯します。

開始時刻(約 30 秒前)に再生、録音またはメニュー設定操作などを行っていると、タイマー予約録音は解除されます。停止状態、または電源が切れた状態で待機しておいてください。

予約した時刻を確認する：

手順 ❶ ❷ ❸ を行う。

タイマー予約録音を解除する：

手順 ❸ で"OFF"を選び、決定する。

- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- 24 時間以上先の時刻は予約設定できません。
- 予約録音時間は、最大 8 時間までです。(メモリー残量が 4 時間分しか残っていない場合は 4 時間までしか設定できません。)
- 録音開始、約 30 秒前になると、録音準備のため自動的に電源が入り、"⊖"と録音ランプが点滅します。この時、各操作を受け付けません。開始時刻になると、録音ランプが点灯して録音を開始します。
- タイマー予約録音中に停止することはできますが、一時停止はできません。
- タイマー予約録音は一度実行すると、設定は解除されます。

無駄な録音を防ぐ (VOS)/ 録音可能時間 (残量) の確認

VOS（Voice Operation System）機能

•フォルダー/ーメニュー
録音ランプ
停止

無音状態が約3秒間続くと、自動的に録音を一時停止し、音声が入ると録音再開します。

• 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

"XP LP EP"（点滅）が表示されます。

❷ ＋、－ で "((●" を選び、▶/■ で決定する

❸ ⏮、⏭ で "On" を選び、▶/■ で決定する

"((●" が表示されます。

録音中、VOS 機能が働いて一時停止しているときは "((●" と録音ランプが点滅します。

VOS 機能を解除する：

手順 ❸ で "OFF" を選び、決定する。

●**大事な用件を録音するときは、解除してください。**

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。

録音可能時間（残量）を確認する

■ 録音中のとき

1. •フォルダー/ーメニュー を 1 秒以上押したままにする

録音可能時間

- 035 06
H M S
時間 分 秒

元の画面に戻るには •フォルダー/ーメニュー をもう一度 1 秒以上押したままにする。

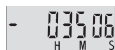
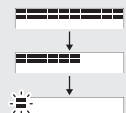
（押さない場合でも、約 30 秒で元の画面に戻ります。）

録音中、メモリー残量がわずか※になると自動的に録音可能時間（残量）表示に切り換わります。

■ 停止中のとき

1. 停止 を1秒以上押したままにする

現在の録音設定での録音可能時間が約 3 秒間表示されます。

- 035 06
H M S

また、停止中の "▬" 表示はおおまかなメモリー残量を表しています。
残量に応じて "▬" が点灯します。
メモリー残量がわずか※になると "▬" が点滅します。

※使用可能メモリーが総メモリー容量（P40）の約 5% 以下になった時

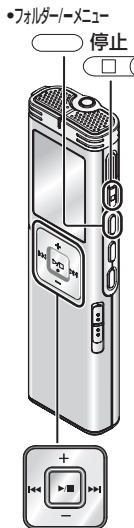
応用操作

再生スピードコントロール機能を設定する

再生速度を 5 段階で調整できます。

•フォルダー/ーメニュー
停止

1 再生中に“EQ”（点滅）と“スピード”（点灯）が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

“♫”フォルダー選択時は“EQ”が表示されません。

2 ⏭ で“スピード”を選び、▶/■ で決定する

3 ⏮、⏭ で再生速度を選ぶ

⏭ で再生速度が早くなり、バー点滅が右側に移動
⏮ で再生速度が遅くなり、バー点滅が左側に移動

0.5 倍速　0.75 倍速　1 倍速　1.5 倍速　2 倍速

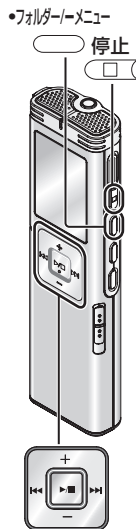
4 ▶/■ で決定する

- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- 設定中に 30 秒以上操作をしないと通常画面に戻ります。
- 1 倍速以外で再生しているときは、上部のバーが点滅し“スピード”が点灯します。

例）0.75 倍速で再生した場合

●フォルダー/ーメニュー
停止
+
−

ノイズカットする (EQ 設定)

再生中の音声を聞き取りやすくする機能です。
“♪”フォルダー選択時は設定できません。

1 **再生中に“EQ”(点滅) と“スピード”（点灯）が表示されるまで、●フォルダー/ーメニュー を押したままにする**

2 **▶/■ を押す**

3 **⏮、⏭ で“On”を選び、▶/■ で決定する**

-On-OFF

設定後は、 再生中に“EQ”が表示されます。

ノイズカット(EQ 設定)を解除する:

手順 ❸ で“OFF”を選び、決定する。

少し戻る再生を設定する

少し戻る再生とは、再生中に ⏮ をポンと押すと、約 5 秒ほど戻って再生する機能です。

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 **メニュー画面が表示されるまで、●フォルダー/ーメニュー を押したままにする**

“XP LP EP”(点滅) が表示されます。

2 **＋、－ で“BS”を選び、▶/■ で決定する**

3 **⏮、⏭ で“On”を選び、▶/■ で決定する**

-On-OFF

設定後は“BS”が表示されます。

少し戻る再生を解除する：

手順 ❸ で“OFF”を選び、決定する。

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
●少し戻る再生を設定後、⏮ をポンポンと連続で押しても、約 5 秒ずつしか戻りません。
●ファイル再生開始先頭 5 秒以内の位置から少し戻る再生をした場合は、ファイルの先頭に戻ります。
●少し戻る再生設定中は、インデックスポイントまでスキップできません。

応用操作

繰り返し再生 (リピート)/ 連続再生

リピート

停止中に リピート を押すたびに切り換わります

連続 → 連続 ↻ → 表示なし→ ↻

“連続” 表示

一つのフォルダー内の選択したファイルから最終ファイルまで続けて再生します。終わると停止します。（お買い上げ時は “連続”）

“連続 ↻” 表示

一つのフォルダー内の全ファイルを繰り返して再生します。

表示なし

一つのファイルの再生が終わると停止します。

“↻” 表示

一つのファイルを繰り返して再生します。

●設定後 ▶/■ を押して再生する。

A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

❶ 再生中に リピート を 1 秒以上押す

始点 (A) が設定され “A-B” (点滅) と “↻” (点灯) が表示されます。

❷ 終点 (B) で リピート を押す

“A-B”（点灯）に変わり、 A-B リピート再生が始まります。

A-B リピート再生を解除する：

再生中、または停止中に リピート を押すか ⏮、⏭ をポンと押す。（フォルダー内の最終ファイル再生中は ⏭ で解除しません。）

●以下の場合、A-B リピート設定できません。
- ファイルの先頭から 1 秒以内、 終端から 2 秒以内
- 始点 (A) と終点 (B) の間が 2 秒以下

●始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。

●A-B リピート再生中は、インデックスポイントへのスキップ（P22）や少し戻る再生（P19）はできません。

ファイルを分割する

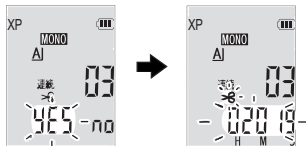
録音したファイルを 1 ファイルにつき 30 回まで分割することができます。

1 再生中にファイルを分割したい場所で •フォルダー/ーメニュー インデックス/分割 をポンと押す

一時停止し、"⚐"（点滅）と"✂"（点灯）が表示されます。（少し戻る再生が設定されている場合、"⚐" は表示されません。）

2 ▶▶| で "✂" を選び、▶/■ で決定する

3 |◀◀、▶▶| で "YES" を選び、▶/■ で決定する

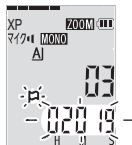
分割中は、しばらく "✂" と分割地点の経過時間が点滅します。
その後、分割ファイル後半の先頭部分で停止します。

- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。
- 本機で録音したファイル以外は分割できません。（音楽ファイルは分割できません。）
- ロック設定をしたファイルは分割できません。（画面に "✂" が表示されません。）ロック設定を解除した後、分割してください。（P13）
- メモリー残量が少ない場合は、ファイルの分割ができないことがあります。
- 分割した後半のファイルにも自動的に分割前のファイルから算出した "録音日"、"録音開始時刻"、"録音時間" が付けられます。（分割した前半のファイルは、録音時間のみ変更されます。）
- 電池残量表示が "▭" のときは、ファイルを分割できません。

インデックス機能

本機におけるインデックスとは、とび越し（スキップ）したとき、止めたい場所に付ける印（ポイント）のことで、再生中に ⏮、⏭ をポンと押すと最も近いインデックスポイントまでスキップします。
インデックスは 1 ファイルにつき最大 16 個まで付けることができます。

録音中にインデックスを付ける

1 インデックスを付けたい場所で •フォルダー/-メニュー インデックス/分割 をポンと押す

2秒間 "🏳" とその時点での経過時間が点滅します。
録音は、そのまま継続されます。

再生中にインデックスを付ける

1 インデックスを付けたい場所で •フォルダー/-メニュー インデックス/分割 をポンと押す

一時停止し、"🏳"（点滅）と "✂"（点灯）が表示されます。
（少し戻る再生が設定されている場合は、インデックスを付けることができません。"🏳" は表示されません。）

設定をやめる場合は、停止 □ を押す。

2 ▶/■ を押す

2秒間 "🏳" とその時点での経過時間が点滅します。
点滅終了後、再生を再開します。

- ファイルの先頭から 3 秒以内は、インデックスを付けることができません。
- インデックスを付ける間隔は 2 秒以上開けないと、インデックスを付けることができません。
- インデックスを付けたファイルには "🏳" が表示されます。
- 電池残量表示が "▭" のときは、インデックスを付けることができません。

インデックスを解除する

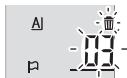
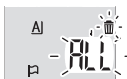
- インデックスを解除したいフォルダーまたはファイルを選んでおく。(P10)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

"XP LP EP"(点滅)が表示されます。

2 +、− で、"🏳"を選び、▶/■ で決定する

3 ⏮、⏭ で解除したいファイルを選ぶ

① 一つのファイルのインデックスを解除する場合

② 一つのフォルダー内の全ファイルのインデックスを解除する場合

③ 全フォルダー内の全ファイルのインデックスを解除する場合

4 ▶/■ でファイルを決定する

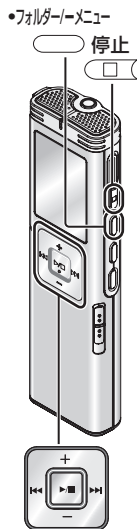
5 ⏮、⏭ で "YES" を選び、▶/■ で決定する

解除が完了すると"--- --"が表示されます。
完了までに数十秒かかる場合があります。

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
●インデックスを付けたファイルを分割、または消去するとインデックスは解除されます。
●選択したフォルダー内にインデックスが付いたファイルが無い場合は、メニュー画面に"🏳"は表示されません。

応用操作

パスワードを設定しておくと、セキュリティロックがかかり、再生時や本機をパソコンに接続する際にパスワード認証が必要になります。パスワードが一致しないと、録音ファイルを再生したり、パソコンで本機を認識することができないので、紛失・盗難時に安心です。

•フォルダー/ーメニュー
停止

パスワードを忘れるとA～Dフォルダー内の録音ファイルが再生できなくなります。忘れないようにメモ欄（右記）に書き留めておいてください。

パスワード(4桁の数字)を設定する

• 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

“XP LP EP”(点滅)が表示されます。

❷ ＋、－ で“🔒”を選び、▶/■で決定する

BS
LOCK

❸ ⏮、⏭ で“On”を選び、▶/■ で決定する

パスワード設定画面に入ります。

❹ ＋、－で数字を選び、▶/■ で決定する

次の桁に移動しますので、同様に4桁目まで入力します。
(⏮、⏭ で桁を選べます。)
4桁目の入力が終わるとパスワードが確定されます。
設定後“🔒”が点灯します。

メモ欄

パスワード	

パスワードが設定されている場合、再生しようと▶/■ を押すとパスワード入力画面が表示されます。(P25)

セキュリティロックを解除する：

①手順 ❸ で“OFF”を選び、決定する。
②手順 ❹ を行う。(パスワードを入力する。)

● 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
● パスワードを変更する場合は、セキュリティロックを解除し、手順 ❶ から設定し直してください。

パスワード認証を行う

P24 手順 ❹ を行う（パスワードを入力する）

■ パスワードが一致すると

● セキュリティロックが一時的に解除され、録音ファイルが再生できます。（一時解除中は“S”が点滅しています。）
● 以下の場合、セキュリティロックが再度かかります。

- 停止状態で約 15 分以上、何も操作しないで電源が切れた場合（P6）
- 停止中、ホールドにして約 15 分以上、ホールド解除しなかった場合（P6）

■ パスワードが間違っていると

● ビープ音が鳴り“PAS Err”が表示され、パスワード入力画面に戻ります。パスワード入力を 5 回間違うとパスワード入力ができなくなります。（パスワード入力禁止状態。）その場合は、以下の状態になってから再度パスワード入力してください。

- 停止状態で約 15 分以上、何も操作しないで電源が切れた状態（P6）
- 停止中、ホールドにして約 15 分以上、ホールド解除しなかった状態（P6）

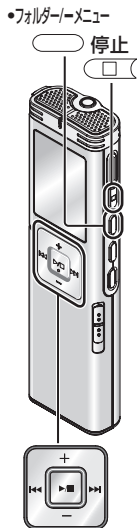
■ パスワードを忘れた場合

全ファイルを消去することで、パスワードを初期化できます。（パスワード入力禁止状態の場合、入力可能状態になってから初期化を行ってください。）

①A ～ D フォルダー内にロックされたファイルがある場合、ロックを解除する。（P13）
②A ～ D フォルダー内の全ファイルを消去する。（P12）
③「パスワード（4 桁の数字）を設定する」の手順 ❸ で“OFF”を選び、▶/■ で決定する。（P24）

● セキュリティロックが解除されていない状態でパソコンに接続すると、本機を認識しません。USB ケーブル接続後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワード認証を行ってください。
● セキュリティロックが解除されていない状態でも、録音と音楽再生をすることはできます。

本機のセキュリティ機能は、パスワードによりファイルの再生を制限するものであり、暗号化等を行うものではありません。万一パスワードが他人に解かれたり、知られたりした場合、その損害について当社は一切の責任を負いません。

操作音を消す

•フォルダー/ーメニュー
停止

❶ メニュー画面が表示されるまで、•フォルダー/ーメニュー を押したままにする

"XP LP EP"（点滅）が表示されます。

❷ ＋、－ で"ᗜ"を選び、▶/■ で決定する

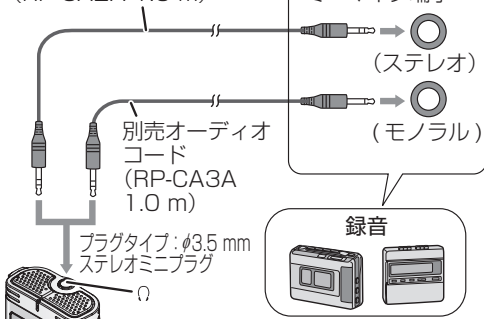
❸ ⏮、⏭ で"OFF"を選び、▶/■ で決定する

操作音を鳴らす：

手順 ❸ で"On"を選び、決定する。

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。

他機器へダビングする

• ダビング時は、操作音を消しておいてください。（左記）

①ダビングしたいファイルを本機で再生する。（P10、11）
②録音機器で録音する。

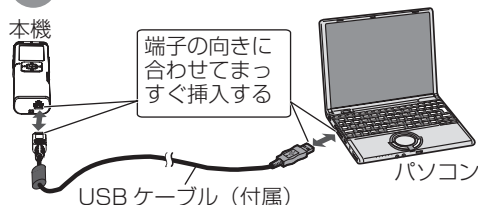
●**録音機器の説明書もお読みください。**
●ダビング後の音質は、本機の音質とは異なる場合があります。
●適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。
●別売品の品番は、2008 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

本機をパソコンに接続する

本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込んだり、充電したりできます。

- パソコンを起動させておく。
- 停止（□）を押して、本機を停止状態にしておく。

❶ USB ケーブルを本機に差し込む

❷ USB ケーブルをパソコンに差し込む

パソコンが本機を認識すると、本機の表示部に "PC" が表示されます。

パソコンが本機を認識しないとき

" PAS" を表示の場合、パスワードを入力してください。(P25)
0000

"USb--nG" を表示している場合は、充電完了後に一度パソコンから本機を取り外し、接続し直してください。

- 電池が消耗し切った状態、または電池が入っていない状態でパソコンに接続しても、本機を認識しません。(P37)

USB ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

■ USB ケーブルを取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows 2000/Windows XP: [ ]、Windows Vista : [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）
取り外した後は、本機の電源が切れます。

■ USB マスストレージ機能

本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。
パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

■ パソコンの動作環境 (対応 OS)

Windows 2000（SP4)、Windows XP、Windows Vista（2008 年1月現在）

- 動作環境の詳細は P35 をご覧ください。
- パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

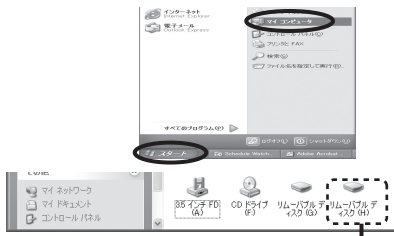
- OS : パソコンの基本ソフトウェア（Windos XP など）
- ダブルクリック : マウスの主ボタンを 2 回連続で押すこと
- マウス : パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

パソコンで本機のフォルダーを開く

表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

• 本機をパソコンに接続しておく。（P27）

1.「スタート」から「マイ コンピュータ」（Windows Vista の場合は「コンピュータ」）を指定して右クリックから「開く（O)」を選ぶ

本機がリムーバブルディスクとして表示されます。

リムーバブルディスクとは、パソコンに接続されている外部記憶装置 (SD メモリーカード､USB メモリーなど) です。「マイ コンピュータ」を開くと表示されます。
説明中のパソコンの構成、外部記憶装置の種類などは一例です。実際にお使いになっているパソコンによって表示は異なります。
リムーバブルディスク（H:）の“H”は変わります。

• 右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと
• マウス：パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

2. リムーバブルディスク（本機）を指定して右クリックから開く

本機のフォルダー（A ～ D、MUSIC）が表示されます。
（本機の画面上で A B C D ♫ と表示されているもの）

3. フォルダーを指定して右クリックから開く

本機の録音ファイルが表示されます。

• パソコン画面に表示されたリムーバブルディスク（本機）を開き、音声フォルダー（A ～ D）を開いておく。（P28）

録音ファイルをパソコンに取り込む

1. 本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. パソコン内のフォルダーなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む

本機のフォルダー　　パソコンのフォルダー

録音ファイルをパソコンで再生する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

フォルダー名を変更しないでください

パソコンで本機のフォルダー（A、B、C、D、MUSIC）の名前を変更した場合、本機をパソコンから外した時点で、新たに A、B、C、D、MUSIC フォルダーが生成され、名前が変更されたフォルダー内のファイルは再生対象外になります。

- 「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。
- ファイルを削除した場合、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。
- データ転送中は､本機の“PC”が点滅表示します。“PC”点滅中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください。**ファイルデータや本機が壊れたり、データが全て失われる可能性もあります。
- パソコンから本機を外したとき、またはその後に電源を入れたときなど、本機内でのファイルデータ更新中は“CF ACCESS”がしばらく表示されます。
- パソコンで、本機をフォーマットしないでください。
- パソコンにインデックスの付いたファイルを取り込んだ場合、インデックスは解除されます。

パソコンに取り込んだ録音ファイルを本機に戻す

• 本機の音声フォルダー（A ～ D）を開いておく。（P28）

パソコンから本機に録音ファイルを戻す

1. パソコン内に取り込んだ録音ファイル (P29) を指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ
2. 本機内の戻したいフォルダーを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、録音ファイルを戻す

ファイルは、必ず取り込み元のフォルダーに戻してください。違うフォルダーに戻すと本機で再生できません。（ファイル名の一文字目A～Dと、戻す本機のフォルダー名A～Dが一致すること）

ファイル名を変更しないでください

ファイル名を変更すると本機で再生できません。ファイル名を元に戻すか、MUSIC フォルダーに移動してください。

●本機で自己録音したファイル以外の MP3 音楽ファイルは、MUSIC フォルダー内でのみ再生が可能です。A ～ D フォルダー内に入れても再生できません。（本機画面にファイル番号が表示されません。）

●本機で再生できるのは、A ～ D フォルダーそれぞれ 99 ファイルまでです。それを超えて保存したファイルは再生できません。

●A ～ D フォルダーの中にフォルダーを作って録音ファイルを入れても本機では再生できません。

●再生順序は、本機に戻した順番になります。例えば、録音時の順番が 1 番目でもパソコンから戻したときに 5 番目だった場合、再生順は 5 番目となります。

本機のファイル名の付け方（自己録音時）

「フォルダー名（半角 A ～ D 1 文字）＋ファイル番号（半角数字 3 文字）＋録音日付（半角数字 4 文字）」
例えば、A フォルダーの 1 番目に 7 月 20 日に録音されたファイルは、“A0010720.mp3”、同日 2 番目に録音されたファイルは“A0020720.mp3”になります。
ファイル分割 (P21) した場合は、録音日付の後ろに“A”や“B”が付きます。

本機で音楽を聴いてみよう（本機に MP3 音楽ファイルを転送する）

パソコン内にお持ちの MP3 音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。

パソコンから本機に MP3 音楽ファイルを転送する

• 本機のMUSICフォルダー（♫）を開いておく。(P28)

1. パソコン内の MP3 音楽ファイル、または MP3 音楽ファイルの入っているフォルダーを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ
2. 本機の MUSIC フォルダーを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、本機に転送する

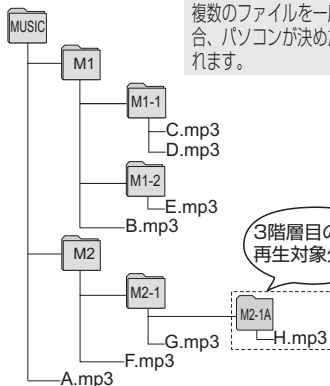
●MUSIC フォルダーの中に作ったフォルダー内のファイルも再生できますが、MUSIC フォルダーのすぐ下にあるフォルダー（1 階層目）とその下に作ったフォルダー（2 階層目）までが対象でその下（3 階層目）以降のフォルダーは再生対象外です。

●再生順序は本機に転送したファイルやフォルダー順になります。ただし、1 階層目のフォルダーの転送順が優先されますので、右記構成の場合、M1 内にあるファイルを全て再生した後に M2 内にあるファイルの再生を行います。M2-1 の後に M1-2 を転送した場合でも、M1-2 内にあるファイルの方を先に再生します。

●またフォルダー直下にあるファイルから優先して再生します。例えば、A.mp3 を一番最後に転送しても再生順は最初になります。

●右記構成の場合、本機で連続再生したときの再生順は
A.mp3 → B.mp3 → C.mp3 → D.mp3 → E.mp3 → F.mp3 → G.mp3
となります。

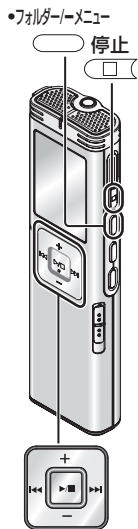
MUSIC フォルダー内のフォルダー / ファイル構成（例）

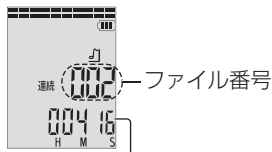
M1とM2ではM1を先に、M1-1とM1-2ではM1-1を先に、C.mp3とD.mp3ではC.mp3を先に本機へ転送した場合の例です。

（M1 などはフォルダー、A.mp3 などはファイルを表しています。）

●データ転送中は、本機の "PC" が点滅表示します。"PC" 点滅中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください。** ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

• MP3：MPEG-1 AUDIO Layer-3 の略称で、音声圧縮規格の一種

本機で音楽を聴いてみよう（本機で MP3 音楽ファイルを再生する）

- USB ケーブルを外しておく。(P27)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •フォルダー/ーメニュー をポンと押して、"♫"（音楽フォルダー）を選ぶ

2 ⏮、⏭ で聞きたい曲のファイル番号を選ぶ

選択後、曲の長さ /MUSIC フォルダー内の総ファイル数が表示されます。

3 ▶/■ を押す（再生開始）

停止：

▶/■ または 停止 を押す。

- 再生操作については、P10、11 をご覧ください。
- "♫" フォルダーでは最大 999 ファイルまで再生できます。それを超えたファイルは本機で再生できません。
- フォルダー名やファイル名などは表示できません。再生順に "001" からの通し番号（ファイル番号）が表示されます。
- MP3 形式以外の WMA や AAC などの他のファイルは再生できません。（画面に番号表示されません。）
- 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
- 可変ビットレートの MP3 音楽ファイルも再生可能ですが、再生経過時間の表示が実際の時間と異なる場合があります。

- WMA：Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種
- AAC：Advanced Audio Coding の略称で、音声圧縮規格の一種
- 可変ビットレート：音声圧縮時に 1 秒間のビットレートが可変する方式

MP3 音楽ファイルを作成する

本機には、音楽 CD から MP3 音楽ファイルを作成する機能やパソコンソフトは付属していません。市販のパソコンソフトなどを使って、MP3 音楽ファイルを作成してください。
Windows XP、Windows Vista をお使いのお客様は、Windows Media Player 11 を使って、MP3 音楽ファイルを作成することができます。
本書では、Windows XP で、Windows Media Player 11 を使用した場合の操作方法を例に説明しています。詳細は、Windows Media Player の「ヘルプ (H)」内の説明書をお読みください。(OS により表示や操作は異なります。)

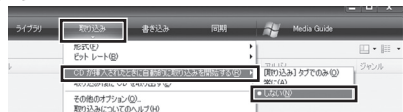
- パソコンを起動させておく。

1. パソコンの「スタート」→「全てのプログラム」→「Windows Media Player」を選んで、起動する

2.「取り込み」→「形式」→「mp3」を選ぶ

3.「取り込み」→「ビットレート」→「128kbps」(最小サイズ)/「192kbps」/「256kbps」/「320kbps」(最高品質)の中から、取り込むときのビットレートを選ぶ

ビットレートを小さくすると多く曲が入ります。

4.「取り込み」→「CD が挿入されたときに自動的に取り込みを開始する」→「しない」をクリックする

5. 音楽 CD をパソコンに入れる

- Windows Media Player :
  Microsoft 社のマルチメディア再生ソフトで音楽 CD の取り込みなどもできる

パソコンと使う

6. アルバムの □ をチェックし ☑ にする
取り込みたくない曲があれば、その曲の ☑ 内のチェックを外す。

チェックしている曲が取り込まれる曲です。

7.「取り込みの開始」をクリックして取り込みを開始する

Windows Media Player でパソコンに取り込んだ音楽ファイルは、保存先を変更していない場合、「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダー内に保存されます。

- Windows Media Player 9、およびそれ以前のバージョンは MP3 音楽ファイルを作成できません。
- Windows XP をご使用で、Windows Media Player 9 を使用している場合は、「ヘルプ (H)」→「プレーヤーの更新の確認 (U)」を選んで、Windows Media Player 11 をダウンロード / 更新してください。（ダウンロード / 更新するには、インターネットに接続している必要があります。）
- MP3 音楽ファイルの作成がうまく出来なかったり、パソコン操作などが分からない場合は、お買い求めになられたパソコンメーカーなどにお問い合わせください。

• MP3 音楽ファイルの本機への転送は P31 を、再生は P32 をご覧ください。

パソコンの動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	• Windows® 2000 Professional SP4 • Windows® XP Home Edition/ Professional および SP1、2 • Windows Vista™ Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate プリインストールされた各日本語版
インターフェース	USB 端子 USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 上記対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ マルチブート環境 には対応していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
※ Windows Media™ Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media™ Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media™ Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせ下さい。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista™は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

Q&A（よくあるご質問）

Q(質問)	A(回答)
他の Panasonic 製 IC レコーダー（RR-US900、RR-US500、RR-US470 など）の録音ファイルは再生できますか？	• 録音フォーマットが異なるため再生できません。
他の Panasonic 製 IC レコーダー（RR-US900、RR-US500、RR-US470 など）に付属している音声編集ソフト（Voice Editing）は使用できますか？	• 録音フォーマットが異なるため使用できません。（本製品の録音フォーマットは MP3 方式です。ADPCM・TRC 方式の弊社 IC レコーダーに付属している音声編集ソフト (Voice Editing) には対応していません。）
カセットレコーダーや電話からの録音は、できますか？	• できません。(外部マイク入力端子がありません）
セキュリティはどのフォルダーにもかかりますか？	• A ～ D フォルダーのみです。MUSIC フォルダーはセキュリティがかかりません。 • パソコンと接続したとき、セキュリティロックがかかっている場合は、パスワード認証を行わないと本機を認識できません。
パソコン以外にどんな充電器で充電できますか？	• パソコンの USB 端子以外での充電には対応していません。
どんなファイルが再生できますか？	• MP3 ファイルのみです。WMA や AAC など、その他のファイルは再生できません。
どんなパソコンと接続できますか？	• Windows 2000（SP4）、Windows XP、Windows Vista のみです。詳細は、パソコンの動作環境をご覧ください。（P35）

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください
電池	充電ができない	• 長期間未使用の充電式電池の場合、充電開始までに数十秒かかることがあります。 • 指定外の電池を使っていませんか？専用の充電式電池以外は本機で充電できません。(P2)
	充電しても再生時間が短い	• 充電しても再生時間が極端に短い場合は充電式電池の寿命です。（充電回数の目安は約 300 回です。）
	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	• 本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
操作	操作ができない	• 電池が外れていませんか？ • パソコン接続時は本体では操作できません。
	“hold” が表示され操作できない	• ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P6）
表示	“2008”、“12:00” が点滅する	• 時計を合わせてください。（P7）
	“FULL” と表示する	• A, B, C, D フォルダーにファイルが 99 ファイル入っていませんか？ • メモリー容量 (P40) を使い切っていませんか？使い切っている場合は、MP3 以外のデータやファイル (P32)、および録音・音楽ファイルを消去するか整理してください。(P12、29)
	“U01” 表示が出る	• 電池残量がありません。充電してください。（P5）
	“USb--nG” と表示する	• 画面表示ができないほど電池が消耗している場合は、パソコンに接続しても “USb--nG” と表示して、本機を認識しません。充電式電池 (P2) をご使用の場合は、そのまま充電を行い、充電完了後、一度パソコンから本機を取り外し、再度接続し直してください。 • 乾電池をご使用の場合は新しい乾電池と交換してください。 • 電池が入っていない場合は、電池を入れてください。（P5）
	メニュー設定画面に “ZOOM” が表示されない	• “ST”（ステレオ）に設定されていませんか？ “MONO”（モノラル）に設定すると、メニュー設定画面に “ZOOM” が表示されます。（P15）
	“[F] ACCESS” と表示する	• パソコンから本機を外した後や電源を入れたときなど、本機内でデータの更新を行っているときに表示します。

故障かな !?（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください
録音	メモリー容量を使い切るのが早い（“FULL” と表示されるのが早い）	• 録音可能時間はステレオ XP 設定とモノラル EP 設定では約 8 倍違います。（P40） モノラル EP 設定で録音すると長時間録音できます。（P9、14） • 音楽 CD の取り込み時のビットレートを小さくするとたくさんの曲が入ります。（P33） • MP3 以外のデータを多く入れていませんか？不要なデータを整理してください。
	録音が途中で止まる	• VOS が働いていませんか？（P17）
	録音時にインサイドホンで音声を聞くと、「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。（P10） • インサイドホンと本機を離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	• 録音中、落下等の衝撃が加わったり、電池が外れたりすると、録音データの更新ができないことがあります。
	録音日時の表示が “-- --” になる	• 時計を合わせていますか？（P7）
	録音した時間よりも再生した時間が長い	• 録音設定の組み合わせ（P8）によっては、1 ～ 2 秒ほど長く録音される場合があります。
	タイマー予約録音が設定できない	• 現在時刻から 24 時間以上先の時刻を設定することはできません。 • 8 時間以上の録音時間は設定できません。 • 時計を合わせていますか？（P7） • 録音可能時間が 1 分未満しかない場合は設定できません。
	タイマー予約録音が動作しない	• 電池が外れ、時計情報が失われると設定が解除されます。 • タイマー予約録音の設定時刻に再生操作などを行っていると動作しません。 • タイマー予約録音の設定は、一度実行すると解除されます。必要な場合は、再度設定し直してください。
	タイマー予約録音で作成したファイルが設定した時間よりも短い	• VOS を “On” にしたまま、タイマー予約録音を行っていませんか？（P17）

	こんなときは	ここをご確認ください
再生	本機で録音した録音ファイルだが再生できない	• ファイル名が変更されていませんか？ A ～ D フォルダー内では ファイル名の付け方（P30）に従った名前のファイルしか再生できません。
	再生速度が速かったり、遅かったりする	• 再生スピードコントロール機能で再生速度を変更していませんか？（P18）
	一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻したら再生順が変わった	• パソコンから取り込んだファイルはフォルダー内の最後に配置されるため再生順が変わります。
	インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	• プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ • プラグが汚れていませんか？（プラグをきれいにふいてください。）
	音が割れる	• マイク感度（P14）を下げるか、または、録音音源からの距離を遠ざけてください。
	スピーカーから音が出ない	• インサイドホンを接続していませんか？
	雑音が聞こえる	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。
	録音音声に雑音がまざって聞きとりにくい	• ノイズをカットしてください。雑音が減り、聞きやすくなる場合があります。(P19)
その他	電源が入らない	• 電池が消耗していませんか。充電式電池をご使用の場合は充電してください (P5)。乾電池をご使用の場合は新しい乾電池と交換してください。
	電源が勝手に切れる	• 本機は停止状態で約 15 分以上何も操作しないと、自動的に電源が切れます。何かボタンを押したり、ホールドスイッチを操作すると電源が入ります。(P6)
	ファイル、フォルダーが消去できない	• ファイルがロックされていませんか？（P13） • ファイルが入っていないフォルダーを選んでいませんか？
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	• パソコンの OS が非対応ではありませんか？ (P35) • パスワードを設定している状態ではありませんか？（P25） • 電池を入れていますか？入っていない場合は電池を入れてください。 • 電池が消耗している場合、“USb--nG”と表示して、認識されません。(P37)

その他

仕様

	項目		仕様
電源	充電式電池		1.2 V ニッケル水素：1本
	乾電池		1.5 V 単4形：1本
	充電仕様		USB 充電、充電時間：約2時間

	項目		仕様
音声	サンプリング周波数（ステレオ / モノラル）		XP: 44.1 kHz/44.1 kHz LP: 22.05 kHz/16 kHz EP: 11.025 kHz/8 kHz
	録音方式		MP3
	再生可能ビットレート（MUSIC フォルダー）		8 kbps ～ 320 kbps
	再生可能サンプリング周波数（MUSIC フォルダー）		8 kHz ～ 48 kHz
	周波数特性（-10 dB、モノラル録音 / 再生時）		XP: 180 Hz ～ 15,000 Hz LP: 180 Hz ～ 6,200 Hz EP: 180 Hz ～ 3,400 Hz
	内蔵マイク　S/N 比		40.5 dB (XP) フィルター (JIS A)

	項目		仕様
端子	USB		USB2.0（Hi-Speed）
	音声出力	インサイドホン	3.5 mm ジャック, 16 Ω, 3 mW (JEITA)
		スピーカー出力	20 mm 丸形, 8 Ω, 40 mW (JEITA)

項目	仕様
質量	約 56.0 g (電池を含む)/ 約 44.0 g (電池を含まず)
本体寸法	33.6 (W) mm × 115.0 (H) mm × 17.6 (D) mm
使用温度範囲	0℃～ 40℃
使用湿度範囲	20% ～ 80%（結露なきこと）
充電可能温度範囲	5℃～ 35℃

記録容量（メモリー容量）	RR-US950	RR-US750
	2 GB※1	1 GB※1

※1 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

電池持続時間（使用条件によって短くなる場合があります。）

電池（単4形）	録音モード		録音時※3	再生時※4
アルカリ※2 乾電池 / 充電式電池	ステレオ	XP	約 15/10 時間	約 13/9 時間
		LP	約 18/12 時間	約 13/9 時間
		EP	約 20/13 時間	約 13/9 時間
	モノラル	XP	約 23/16 時間	約 13/9 時間
		LP	約 28/19 時間	約 13/9 時間
		EP	約 30/20 時間	約 13/9 時間

※2 推奨のパナソニックアルカリ乾電池を使用
※3 ズームマイク設定オフ
※4 EQ 設定オフ、再生速度 1 倍速、音量 13、スピーカー再生

録音可能時間の目安

録音モード		RR-US950	RR-US750	ビットレート
ステレオ	XP	36 時間 10 分	18 時間 00 分	128kbps
	LP	72 時間 30 分	36 時間 10 分	64kbps
	EP	145 時間 10 分	72 時間 30 分	32kbps
モノラル	XP	72 時間 30 分	36 時間 10 分	64kbps
	LP	145 時間 10 分	72 時間 30 分	32kbps
	EP	290 時間 20 分	145 時間 00 分	16kbps

●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

■ 本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■ 故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻きつけたまま、かばんの中にいれ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み電池の届け先：

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

●ホームページ http://www.jbrc.net/hp

充電式
ニッケル水素電池

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

充電式電池は、本機を使って充電する

指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

警告

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

単４形電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗り物を運転中に操作したりステレオインサイドホンで使わない

交通事故の原因になることがあります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

警告

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、液もれ·発熱·発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

注意

長期間使わないときは、本機から電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間 6 年

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな !?」（P37 ～ 39）の表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	IC レコーダー
品番	RR-US950/ RR-US750
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー･ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き､第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。　●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

首都圏地区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎ (025)286-0180

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

中部地区

地区	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)254-5520

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。　●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近畿地区

県	所在地・電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

中国地区

県	所在地・電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5 ☎ (082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720

四国地区

県	所在地・電話番号
香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544

九州地区

県	所在地・電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1 ☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
天草	天草市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

県	所在地・電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障及び損傷
   - (ニ) 車輌、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   - (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
   - (ヘ) 本書のご添付がない場合
   - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   - (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
   (ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
   お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	RR-US950/RR-US750	
保証期間	お買い上げ日から **本体 1年間**	
※お買い上げ日	年　月　日	
※お客様	ご住所	
	お名前　**様**	
	電　話（　　）　ー	
※販売店	住所・販売店名	
	電話（　　）　ー	

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。